

市民と議会との語る会実施報告書

日	時	令和7年11月20日（木） 午後7時 ～ 午後8時30分頃
会	場	吉野公民館
出席議員		畑 勝浩 議員（班長） 森本 辰之 議員 橋本 弥登志 議員 清水 一徳 議員 砂田 竜一 議員 川崎 俊之 議員 前田 修治 議員
参加者（市民）		12名
司会（班長） 議会報告者 全体記録係		司 会 ：畑 勝浩 議員 議 会 報 告 ：清水 一徳 議員 記 録 ：橋本 弥登志 議員
【1部】 定例会概要報告等 （報告者）清水議員		<p>Q：新幹線駅とハピライン武生駅をつなぐ公共交通機関を整備しては。</p> <p>A：一時期シャトルバスを運行していたが、利用頻度などが課題であった。現在、予約型乗合タクシーの事業を試行している。そこで、越前たけふ駅を起点に各地区へアクセスできる施策に取り組んでいる。</p> <p>地域住民の足をしっかり確保することが重要で、例えば、一人暮らしの高齢者など、自宅に車を運転される方のいない世帯向けに、気軽に使える公共交通機関を整備することを主眼に取り組んでいる。</p> <p>Q：自転車活用推進計画について、将来のビジョンを持って取り組んでいるのか。自転車の利用状況などリサーチをしているのか。</p> <p>A：国で自転車活用推進法が施行され、全国の地方自治体にも関連した計画を策定するよう努力義務が付された。</p> <p>市では、まずは自転車に乗ることでの健康面、環境面、観光面のメリットが期待できるという観点で進めているが、5か年計画の初年度であることもあり、ビジョンが不安であるという声も上がっている。</p> <p>現在、自転車に係る法律も変わってきており、特に交通ルールの見直しが進められている。その遵守をしっかりと進める効果、そして、自転車が走りやすい道路整備が進むことも期待できる。</p> <p>5か年計画の中で、常々いろんな意見を反映した上で見直していくと聞いているので、皆さまからの意見を市へ届けていきたい。</p> <p>Q：クールアイランドといって集会場などで住民がまとまり、フレイル予防等も兼ねながら涼むという取組があるが、その場合、空調費が町内の負担になってくる。町内の福祉推進員、民生委員の負担もある。そこに市の補助の目を向けてほしい。</p> <p>A：自治振興活動に尽力している人にもっと支援が必要。意見をしっかり受け止めて市に伝えていく。自治振興会活動の見直しも行っていることから、活動者の負担の軽減等支援について意見を述べていく。</p> <p>Q：福祉推進員には、社会福祉協議会から3千円の報酬が出ている。一昨年までは6千円であったが減額された。その理由が、財源が少なく</p>

	<p>なったからということであった。物価高で生活が厳しくなる中、自身の時間を割いてまで地域のために活動しており、ボランティアという美談では済まされなくなっている。福祉推進員や民生委員の処遇改善に早急に取り組んでいただきたい。</p> <p>A：民生委員等の活動費以上に仕事量が膨大になってきていること、なり手が少なくなっていることの課題は認識している。議会からの問題提起をこれからも継続していきたい。</p> <p>（意見）何が重要で優先すべきかを考えて予算確保に努めてほしい。</p> <p>Q：市民税で新しく地域協力費などの名目で年千円ほどでも追加徴収し、地域活動に対しての報酬を上乗せする施策をとってほしい。</p> <p>また、集落改善センターの改修に関する補助が非常に少ない。</p> <p>A：福祉推進員の報酬について、来年には0円になる話も出ている。全体の予算の中で緊急性、必要性をどのように判断して配分することが重要であるので、その中で地域活動をする人への報酬や支援をどうするか、意見を聞きながら進める必要がある。</p> <p>民生委員は、国から活動費が出ている。地域単独でも補助をして手当を底上げしている。</p> <p>集落改善センターの補助は極めて少ない。国の宝くじの助成金が当たったときに補助が増える機会があるが、それでも多くない。現状は、粘り強く順番を待ち続けなければならない。</p>
<p>【2部】</p> <p>意見交換会 (1班)</p> <p>進行：畑議員 記録：橋本議員 森本議員</p>	<p>Q：福祉推進員への報酬については市政で考えるべきこと。町内会で集める募金も減っており、財源枯渇につながっている。募金を原資にすること自体間違っているのではないか。</p> <p>もともと、福井県の中でも先頭に立って、福祉を地域展開しているのは越前市ではないか。本来、国から財源を確保するなど地域活動者の報酬を担保した上で進めるべき施策であったと考える。</p> <p>なり手がいない中で、組織を維持するための対策を考えるべき。</p> <p>地域福祉の制度について、越前市がトップを走っているのは間違いない。だからこそ、市で予算化していかないと寂しいと感じる。</p> <p>A：人手が不足し、お金もない中、地域福祉の推進のためにどのような仕組みを作るか考えないといけない。</p> <p>地域福祉としてつどいやサロンを熱心にやられているからこそ、皆が元気でいられて介護保険料の負担が抑えられている。これは越前市が自慢できるもの。</p> <p>Q：議会報告会について、わざわざ説明しなくても紙を配ってもらえば分かる。コマーシャルのようなPRばかりでなく、ドラマの中身のような意見交換を充実させてほしい。</p> <p>A：焦点を当てた意見交換ができることも大事だと考える。そのテーマを見つけるきっかけとして議会報告会を捉えていただけるとありがたい。</p>

<p>(2班)</p> <p>進行：清水議員</p> <p>記録：砂田議員 前田議員</p>	<p>(意見) 市政には、行き届かないところを徹底して追及してほしい。</p> <p>(意見) ひとり親家庭等自立支援事業の大学等受験料助成について、大変ありがたい制度であり利用したいと思っているが、受験となると、前日から会場に出向いて準備が必要であるので、受験料だけでなく、交通費や宿泊費の助成を検討してほしい。</p> <p>Q:脱炭素社会実現事業の小学校プールにソーラーパネルを設置する取組をしているが、従来の通常の電気料とどちらがメリットであるのか。</p> <p>A:南中山小学校では、一般家庭の10軒分ほどの電気量を発電できることになる。それは、小学校で使う電気量のおよそ30%に相当する。</p> <p>ゼロカーボンを目指す取組として教育的なメリットもある。</p> <p>また、これはプール授業が武生中央公園温水プールに集約されたことによる、学校プールの有効活用として始まった取組である。</p> <p>Q:災害対策にも効果があるのか。</p> <p>A:災害時、ソーラーパネルの電力を空調設備に使う予定は現時点ではないが、多くの意見はいただいている。</p> <p>Q:地区の防災備品を調達するために申請を続けているが、ハードルが高くてなかなか買えない状況にある。</p> <p>A:避難場所の小学校には、簡易テントや簡易トイレを配置しているが、自治振興会には設備備品が充実していないので、揃えていかないといけないと考えている。予算が足りない中で、各自治振興会が苦労していることを理解している。</p> <p>Q:現状の一番大きい越前市の課題は。</p> <p>A:どこが一番かというとな難しいが、高齢化による人口減少は大きな課題だと考える。福祉は欠かせないところであるし、いろんな分野での担い手が不足している。</p> <p>Q:民生委員のなり手不足の問題が大きくなっている。交通費等の手当があるのみで、無報酬で運営している民生委員の活動に対して、やりがいを感じられるように予算付けをする必要があるのではないか。</p> <p>A:全国的な課題と認識している。お金で測れる活動ではない大変な仕事であるからこそ、行政は、担い手に誠意を持ち続けたいといけない。</p> <p>(意見) 近年の新しい技術で、組立、移動が可能な建物ができている。災害時には、こういった可変的で、移動ができる建物が有効活用できるのではないか。モデル事業として国から補助金を受けるなど、新しいアイデアに取り組んでほしい。</p>
--	--

令和7年11月20日

越前市議会 議長 様

第3班 班長 畑 勝浩